

線虫防除剤 ネマキック粒剤 イミシアホス粒剤

平成30年9月26日付けで以下の通り適用拡大されました。

<変更内容>

- 作物名「ごぼう」を削除。
- 作物名「らっきょう」を削除。
- 作物名「だいこん」の使用法「作条土壌混和」を削除し、使用法「全面土壌混和」の使用量「15～20kg/10a」を「15kg/10a」へ変更。
- 作物名「にんじん」の使用法「作条土壌混和」を削除し、使用法「全面土壌混和」の使用量「15～20kg/10a」を「15kg/10a」へ変更。

【変更前（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミシアホスを含む農薬の総使用回数
ごぼう	ネグサレセンチュウ	20kg/10a	は種前	1回	播溝土壌混和	1回
だいこん		10kg/10a			作条土壌混和	
		15～20kg/10a			全面土壌混和	
にんじん		10kg/10a			作条土壌混和	
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	15～20kg/10a			全面土壌混和	
らっきょう	ネダニ類	5kg/10a	生育期 但し 収穫30日 前まで	2回 以内	土壌表面散布	2回以内

【変更後（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

下線が変更部分です。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミシアホスを含む農薬の総使用回数
だいこん	ネグサレセンチュウ	<u>15kg/10a</u>	は種前	1回	全面土壌混和	1回
にんじん	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	<u>15kg/10a</u>				

<使用上の注意事項の変更>

【追加】

- (1) 全面土壌混和で使用する場合には、所定量の薬剤を圃場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するようによく混和すること。
- (3) 土壌が乾燥している場合は、処理後に十分散水すること。
- (4) だいこん、にんじんで使用する場合、低温期には種する作型には使用しないこと。

【変更後】

- (1) 全面土壌混和で使用する場合には、所定量の薬剤を圃場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するようによく混和すること。
- (2) 散布が不均一であったり、混和が不十分な場合には、効果不足や薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (3) 土壌が乾燥している場合は、処理後に十分散水すること。
- (4) だいこん、にんじんで使用する場合、低温期には種する作型には使用しないこと。
- (5) ミツバチ及びマルハナバチに対して影響があるので、ミツバチ及びマルハナバチの巣箱及びその周辺にはかからないようにすること。
- (6) 蚕に対して、長期間毒性があるので、桑園に飛散しないように注意すること。
- (7) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (8) 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (9) 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理すること。